

〔結果〕 観察の結果は図 1 に具体的に示されている。種子の飛散距離は種子が比較的大形なエイザンスミレで最長距離 170 cm であったが、46% は 50-100 cm 円周圏内に見られた。種子の大きさが前者につぐ *Viola cucullata* では飛散最長距離は 230 cm であったが、約 41% は 100-150 cm の円周圏内に集って見られた。種子の大きさが最小のタチツボスミレでは飛散最長距離は 190 cm であったが、約 72% が 100-200 cm の円周圏内に集中するのが見られた。それ等の実態から見て 3 種を通じてその散布は一応ポアソン型を示していることが認められる

と同時に、種子の大小と飛散距離との間には負の相関々係があると見てよからう。

次に飛散方向では 3 種を一括して北東域 (0°~90°) に 12, 南東域 (90°~180°) に 12, 南西域 (180°~270°) に 18, 北西域 (270°~360°) に 15 が見られている。それ等を両半側に集計すると北半側で 27, 南半側で 30 となり、東半側で 24, 西半側で 33 となった。しかしそれ等の数字に何等かの意義をもたせることはむづかしいことの様である。なおこの観察は 4×4 m の小室内の閉鎖環境で行われたものであることをつけ加えておく。

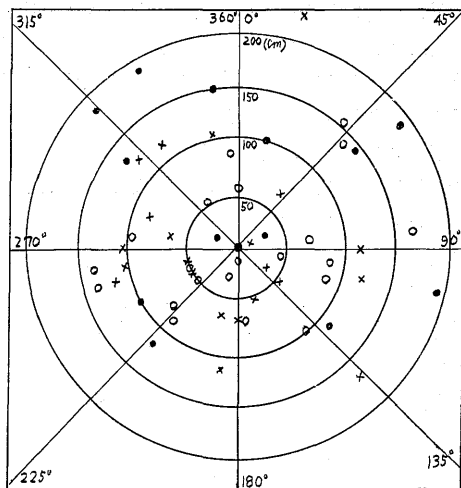


Fig. 1. Falling positions of flying seeds of three species of violets.

○ *Viola eizanensis*. × *Viola cucullata*.
● *Viola grypceras*.

○台湾・琉球の植物補遺 (5) (山崎 敬) Takasi YAMAZAKI: Supplement of the flora of Ryukyu and Formosa (5)

12. 日本, 台湾のギョクシンカ類 九州, 琉球のギョクシンカ *Tarennia gyokushinkwa* と台湾の *T. gracilipes* とは、後者が葉が細長く、裏面に毛がやや多く、かく筒にもやや毛が多い傾向がある。ギョクシンカは葉が大きく、毛が少ない傾向がある。しかし多くの中間形があって、はっきりした区別をつけるのは困難である。また *T. gracilipes* の基準標本は台湾、阿候のものであるが、台湾の一般のものより葉はやや大形で毛も少なく、むしろ日本型に近い。したがって台湾のものと琉球、九州のものとは、やや異なる傾向はあるが同一種類とみなすのが適当と思われる。

ギョクシンカの特に葉の広い形をやエヤマギョクシンカとして区別し、*T. kotoensis* の変種としてあつかわれることがある。これは琉球列島の石垣島西表島に多い。初島氏の見解のようにギョクシンカと同種とすべきものである。しかしギョクシンカとの区別はあまりはっきりしたものではない。

ギョクシンカ類は特徴が少なく、不注意な観察では種類の特徴がつかめず、混乱を起すものとなる。Li 氏の *Woody Fl. Taiwan* では著しく混乱している。*T. kotoensis* は葉の先が短くとがり、両面無毛であり、花柄も無毛である。ギョクシンカは葉の先が細長くとがり、裏面脈上に短毛がはえ、花柄にも短毛が密生している。両者は明らかに別の種類である。Li 氏はギョクシンカと *T. kotoensis* を一諸にし、しかもインド南部、セイロンの *T. zeylanica* (*T. corymbosa*) にあてている。*T. zeylanica* の標本が日本にないので正確なことはいえないが、Wight の図によれば葉や花の形がことなり、また中間のマレーやフィリピンにも分布していないので別のものと思う。学名を整理すると以下ようになる。

Tarennia gracilipes (Hayata) Ohwi in Fedde Rep. Sp. Nov. 36: 57 (1934); Li, *Woody Fl. Taiwan* p. 871, t. 352 (1963)—*Chomelia gracilipes* Hayata, Icon. Pl. Formos. 9: 57 (1920)—*Chomelia lancifolia* Hayata, l. c. 58 (1920)—*Tarennia lancifolia* (Hayata) Kanehira et Sasaki, List. Pl. Formos. p. 387 (1928) non Ridl. 1925; Kanehira, Formos. Tree rev. ed. p. 683, t. 639 (1936)—*Tarennia hayataiana* Kanehira, Formos. Tree rev. ed. p. 711 (1936)—*Chomelia corymbosa* (non Willd.) Matsum. et Hayata, Enum. Pl. Formos. p. 189 (1906)—*Tarennia gyokushinkwa* Ohwi in Fedde Rep. Sp. Nov. 36: 57 (1934) syn. nov.—*Tarennia zeylanica* (non Gaerth.) Nakai, Tree and Shrubs, rev. ed. 1: 561, t. 255 (1927)—*Tarennia kotoensis* (Hayata) Kanehira et Sasaki var. *gyokushinkwa* (Ohwi) Masamune in Hokuriku Journ. Bot. 1: 14 (1952).

Distr. Southern Kyushu, Ryukyu and Formosa.

var. ***yaeyamensis*** (Masamune) Yamazaki comb. nov.—*Tarennia kotoensis* var. *yaeyamensis* Masamune in Trans. Nat. Hist. Soc. Formos. 29: 269 (1939), in Sci. Rep. Kanazawa Univ. 4: 85, t. 13 (1955)—*Tarennia gyokushinkwa* var. *yaeyamensis* (Masamune) Hatusima, Fl. Okinawa, rev. ed. p. 111 (1967).

Distr. Ryukyu: Isl. Ishigaki and Isl. Iriomote.

Tarennia kotoensis (Hayata) Kanehira et Sasaki, Formos. Tree, rev. ed. p. 683, t. 638 (1936), Liu, Ill. Nat. Intr. Lign. Pl. Taiwan 2: 1136, t. 955 (1962)—*Tarennia zeylanica* (non Gaertn.) Li, *Woody Fl. Taiwan* p. 873 (1963), specimen Is. Lanyu tantum, excl. Liukyu and Japan.

Distr. Formosa, Isl. Lanyu and Philippines, Isl. Batan.

(東京大学理学部植物学教室)